

## 令和6年度第2回健康づくり推進協議会 議事概要

- 開催日時 令和7年1月30日(木) 14時00分～16時00分
- 会場 全国健康保険協会愛知支部 第1会議室
- 出席委員 学識経験者2名、健保組合代表、保健医療関係者2名、事業主代表、被保険者代表、健康保険委員代表 計8名
- 出席事務局 支部長、企画総務部長、企画総務グループ長、保健グループ長  
企画総務グループ長補佐、保健グループ長補佐2名、  
保健グループ職員3名 計10名

### 《議題》

- (1) 令和6年度第1回健康づくり推進協議会でいただいたご質問・ご意見について
- (2) 第3期データヘルス計画について
- (3) 令和7年度保健事業計画について

### 《議事概要》

#### ○事務局からの説明

議題1：前回の協議会で委員から頂いた質問及び意見に対して回答及び説明を行い、業界団体に未加入の事業所への効果的なアプローチ策について、委員の意見を求めた。

議題2：第3期データヘルス計画における腹囲リスク該当者割合と特定保健指導の関係について説明を行い、特定保健指導に対する事業主の理解を得るための効果的な施策について、委員の意見を求めた。

議題3：令和7年度保健事業計画について説明を行った。

#### ○各委員の発言要旨

##### 【学識経験者・健保組合代表】

- ・前回の会議で発言したことが今回の会議の資料に反映されていることを評価する。なお、さらにスピード感を持って分析・検討がなされることを期待する。
- ・業態ごとに事業所別の生活習慣改善意思なし者の割合のヒストグラムを作成し、さらなる分析を実施していただきたい。また、生活習慣改善の意思なし者の割合が高い業態は、若い人が多い業態である可能性もあるので、分析してほしい。
- ・愛知県トラック協会との合同セミナーのように経営者に働きかけることは重要である。従業員個人への働きかけには限界がある。経営者に働きかけて、組織の雰囲気を変えることが大切である。
- ・個人事業主や小規模事業所では、健康づくりについて他の会社の取り組み状況を知る機会が少ない。一緒に頑張る仲間づくりが大切である。
- ・道路貨物運送業の事業所の中に、愛知県トラック協会に加入されていない事業所があるようだが、商工会議所には加入している可能性がある。商工会議所を通じて事業所へアプローチする方法も探してほしい。

- ・健保連の外部委託先の特定保健指導中断率は5%程度である。協会けんぽの委託先の中断率が高いため、中断率を下げる取り組みが必要である。

#### 【保健医療関係者】

- ・道路貨物運送業の中の事業所の人数や年齢の分布まで分析すると、指導すべき事業所が見えてくると思う。
- ・「他県に比べて悪化している健診結果がない」と記載されているが、愛知支部の健診結果が経年的にどのように変化しているのか、という視点が大切である。
- ・愛知県トラック協会との合同セミナーは平日に開催されているが、一人親方等は参加できないと思う。見逃し配信等を実施するなど、視聴の機会を設けることも重要である。

#### 【事業主代表】

- ・男性の約半数が腹囲リスク該当者であることは驚きである。該当者割合を減少させなければならない。
- ・（空腹時血糖の基準について）代謝リスクの基準値は110mg/dl 以上だが、特定保健指導の階層化の基準値は100mg/dl 以上である。代謝リスクの基準値を下回っている人を特定保健指導対象者にするのであれば、なぜ対象者にするのかを丁寧に説明する必要がある。

#### 【被保険者代表】

- ・会社として健康経営に取り組み、対象者全員に特定保健指導を実施することを方針としている。担当者は面談日程の調整のために時間を取られており、遣り甲斐がある一方で大変な思いもしている。
- ・ZOOMでの面談は便利であり、実施率が向上すると思う。特定保健指導を受けた人は、翌年度からは対象者にならないように運動などに取り組んでいる。